

読売・郡司ひさゑ奨学生の近況報告

【23 期生】

教育実習で母校へ 卒業後は大学院進学目指す

高校教諭目指して都内の私立大学に入り、4年生になった女子学生

大学も無事に4年生に進級することができ、最終学年となりましたので、今年度は提出が遅れることのないよう努めていきます。

さて、3学年次も学業に努力してきました。既に3年次修了時点で大学卒業必要単位数は取得できています。

大学内では後学期も前学期に引き続き、教職課程を履修しており、昨年10月には特別支援学校で介護実習を行いました。介護実習では特別支援教育に関する事前実習の後、実際に担任を補佐する形で参加し、児童・生徒への理解の重要性を学びました。また、ゼミでは児童養護施設退所後の児童の進学とその支援について研究を行い、ゼミ論文を作成しました。今後もゼミでの研究を続け、卒業論文に向けて、執筆を行う予定です。今後も、みなさまのご支援があつての大学生活であることを自覚し、精進していきます。

先にも述べましたが、今年度はいよいよ卒業年次生になります。来年の今頃には大学を卒業しているので、学生のうちにしかやれないこと、学生のうちにできることをやって、卒業を迎えられるようにしたいと思っています。4年生では、自分の出身高校に教育実習に行きます。在籍していた当時から、在任されている先生方と教育実習生の立場でお会いするのは、恥ずかしさがありますが、大学4年間で成長した自分の姿を見せられるように、努力していきたいと思います。教育実習期間中は、現在の住まいから高校まで距離があるので、出身施設の空き部屋を利用させて頂き、施設から通わせて頂くことを考えています。

大学卒業後は、大学院への進学を検討しています。今年度もご支援の程、どうぞよろしくお願い致します。

【24 期生】

基礎的なことが身につけていないと実習は大変と痛感

理学療法士を目指して関東地方の国立大学に入り、3年の女子学生

2年生の授業・実習が終わり、春休みを迎えています。2学期の授業はカリキュラムの都合でとても忙しく充実したものでした。特に講義だけでなく、実習の頻度も増え、より高度な授業が多くありました。10月には学園祭がありま

した。模擬店の出店やバンドサークルでの演奏などを行いました。今年の学園祭はコロナ禍が明けて初めて開催されました。そのため、人員を集めたり、企画内容を一から考えたりするなど初めてのことの連続で不安が多くありました。しかしながら、先輩方の協力のもと、無事に終えることができ、充実した学園祭になりました。

学修面では、基礎的な医学知識を学ぶ授業はもちろんのこと、臨床現場で必ず必要となる実技・評価の授業が増えました。例えば、1学期までは、人の身体の動きの概要を学ぶ基礎運動学という授業がありました。一方で2学期になると、基礎運動学実習と言って、人の動作分析を行う授業がありました。どの授業でも言えることですが、実習は基礎的な内容が身につけていないと授業についていだけで必死になってしまいます。私はこの授業の前半、そのことをとても痛感しました。

他にも小児科学という授業もありました。小児科学で学ぶ内容はとても高度でまだ学修していない領域の内容も知っていて当たり前のように授業が進められました。そのため、必死になって勉強しました。

生活面では、6人で1つのユニットとして生活しているため、1学期と変わらずにぎやかな毎日でした。1学期と比べると1年生の様子も徐々に落ち着き、安心して生活できています。時には、騒がしいこともあります。気にするほどではないので安心してしています。しかしながら、学修面との両立もしなければならぬといけません。そのため、限られた時間で掃除や洗濯、食事の支度などをする必要があります。よって、睡眠時間を確保できない時が増えました。その対策として週末にはゆっくと休暇をとるように心がけています。

最後に臨床実習を2回ほど終え、理学療法士になるための意欲がとても強くなりました。色々な患者様とコミュニケーションをとることで得られたものが多くあり、実りある実習になりました。

図書館司書の資格取得目指して他大学の通信教育受講へ

日本史を学ぶため九州の国立大学に入り、3年生になった女子学生

大学に入学し、約2年が経過しました。2年次後期の授業では、2年次前期の授業と同様、専攻したいと考えている『歴史』についての知識を豊かにすることができました。日本歴史・文化演習B1という授業では、室町時代前期の日記である『看聞日記』を書き下したり、現代語訳をしたりすることで、当時の人々の暮らしや年中行事などに触れることができました。また、アジア歴史・文化研究Aでは、朝鮮王朝の国際環境や外交、中国王朝の天下観などを学び、中国王朝と周辺諸国との関係に触れることができました。これらの授業を

通して学んだことをこれからの学習につなげ、3年次以降の授業では、より深い学びが実現できるように頑張りたいと考えています。

2年次後期、私は、大学の授業やアルバイトと並行して、関西の私立大学の通信教育学部図書館司書コースに入学するため、資料を請求したり、オープンキャンパスに参加したりしていました。4年次は就職活動が本格的に始まり、忙しくなるため、今のうちに図書館司書資格を取得したいと考えています。少し大変だとは思いますが、自分で決めたことなので、めげずに頑張りたいと考えています。

春休みに入り、アルバイトに励み、趣味に没頭できる時間が増え、とても有意義な生活を送ることができています。2月後半には、友達と宮城・岩手へと足を運びました。宮城では、仙台城跡や瑞鳳殿、瑞巖寺などを巡り、伊達氏の歴史に触れることができました。岩手では、中尊寺や高館義経堂、毛越寺などを巡り、奥州藤原氏の歴史に触れることができました。1年次の長期休みは旅行することはできませんでしたが、2年次の夏休みには神奈川に、2年次の冬休みには宮城・岩手に行くことができ、2年次の長期休みでは、「旅行する」という目標を叶えることができました。

公務員もいろいろ 興味持てる仕事がたくさんと痛感

公務員になるため関東の専門学校に入り、2年生になった男子学生

公務員になるための専門学校に在学しています。1年を通して勉強だけでなく、いろいろな課外活動に取り組んできました。最近では埼玉マラソンのスタッフとして選手のサポートなどをしました。荷物を受け取って「頑張って下さい」と言ったり、走り終わったランナーに「お疲れ様でした」と言って荷物の返却をしたりしましたが、誰かの役に立っていると実感をし、感謝をされるのがとても嬉しかったです。私が目指す消防官も誰かから感謝をされる仕事であり、なりたいという気持ちが高まりました。しかし、救えなかった時に直面する相手からの厳しい言葉をどれだけ噛み砕けるかが心配になりました。1つの失敗を気にしてしまう質なので、良い所と悪い所を調べた上で消防官になりたいと思いました。

現在、第1志望は東京消防庁です。しかし、専門学校のガイダンスでいろいろな公務員の職種を学びました。その中でも皇宮護衛官は警察と似ていると思っていましたが、全く違うのに衝撃を受けました。1番は110番通報がなく、皇居の周りを守るのが仕事なので、時間通りに仕事がしやすいなと感じました。税務官の仕事も面白いなと感じました。公務員という職種の中で興味関心を持てるような仕事がたくさんあると知り、入学して良かったです。

勉強の方は中の上で、もっと努力をしなければいけないと感じました。今の

ままではなりたい職につけるのか分からないなと感じました。4月から一人暮らしをするので学校に近い場所を選びました。バイトも1次試験が終わるまではする予定はありませんので、その間勉学に励みたいと思います。

他国の学生と交流 文化の違いや様々な価値観知る

外国語を学ぶため関西の私立大学に入り、3年生になった女子学生

大学2年の年があつという間に過ぎ、来月から3年生になると考えると本当に一瞬にして時間が去っていったように思います。1年を振り返ると、自分にとってとても刺激的な年だったと思います。学業面では、自分の専攻語である英語はもちろん、第二言語として履修しているスペイン語にも重きを置いて勉強していました。授業で学ぶことに加え、言語習得アプリを通じて積極的に学んでいました。これには、大学で他国の学生との交流していたことが大きいと思っています。いろいろな国の学生に出会って、それぞれの文化の違いや価値観など新たな学びや発見が多くあり、私に良い影響を与えてくれます。日本で普通に生活していたら中々ないような機会であり、外国語大学ならではのこのような環境により魅力を感じるようになりました。私生活では、この1年ボランティア活動に力を注いできました。私がこの活動に熱中し始めたのは、昨年にあった全国から学生が集うキャンプのようなものでした。そこでは仲間との出会いや自分の志というものを掲げることができ、新たなスタートを切るためにどう自分でありたいのか、一度自分自身を見つめ直し考えました。そこから私は誰かのためにできることを全力でということ念頭に置いて活動しています。そして、最近一人暮らしを始めました。今まで1人という環境に置かれたことがなかったため、とても不安は大きい反面、期待も大きいです。1人で暮らし始めて一番思うことは、今までどれだけいろんな人に頼っていたかということです。今までは考えたこともなかったことや状況ばかりで戸惑ったり、苦戦したりする毎日ですが、順調に生活出来ています。今後の最も気がかりなことは、今まで以上にすることが増えるため、学業がおろそかにならないかということです。自分がどういう目的で大学に進学したのかを今一度考え、努力していきたいと思っています。

「子ども食堂のイノベーションと社会連携」を学び、提案

都内の私立大学に入り、3年生になった女子学生

2年後期の大学生活では、特にプロジェクト型の授業に特に力を入れてきました。地域課題へのアプローチとして「子ども食堂のイノベーションと社会連携」を考える内容です。このプロジェクトでは、子ども食堂の運営困難やイメ

ージ改革の重要性に焦点をあて、新たなコンセプトやアイデアを一から考えて提案しました。例えば、小学生と中高生向けの食育プログラム、単発イベント、チケット制度の導入などです。また、大学がある市内の建物の活用を通じた居場所づくりや多世代交流の場所としての活用も提案しました。これらのアイデアを通じて、子ども食堂を包括的なコミュニティスペースに変革し、地域社会との連携を強化することを目指しました。

今回のプロジェクトを通じて、大学と地域が連携する意義を実感することができました。市役所からの情報共有を通じて地域の課題を理解し、その解決策を模索する過程で、実際の社会的問題に対処するスキルについて考えさせられるものとなりました。地域社会との連携は、大学生が現実の課題にアプローチし、提案を通じて地域に貢献する重要な手段となります。また、企画の立案や発表の過程で情報整理と伝達方法の重要性を学び、客観的な分析と利害関係者の意見統合が解決策の構築に不可欠であることを認識しました。大学と地域の連携は、実践的なスキルの向上だけでなく、現実の問題に対処するための包括的なアプローチを学ぶ機会を提供し、将来的にも社会に貢献できる人材への成長を促進する重要な要素であると感じました。

加えて、ゼミナール選抜が行われ、無事に第一志望のゼミに通ることができ、今年度から活動していくこととなります。志望したゼミでは、地域や生活文化について他のゼミよりも現場に出て実践的に学ぶことができるのが特徴です。私もそうした実践されている活動を通じて地域の方々と触れ合い、人間の温かさや温もりを生むことができる地域づくりに参加したいという思いを抱いています。そして、今最もあるべき姿が問われている、人間の豊かさや人間の幸福感を少しでも理想に近づけられる活動を研究していきたいと思っています。特に幼児、低学年の教育分野で地域のコミュニケーションや活動に活かされるシステムを構築できるような研究をしたいと考えています。これは、地域の結びつきだけではなく、豊かさや幸福感の概念を多感な幼少期から育むことにより、彼らが成長した時に、コミュニティの中心となる人材の育成にもつながると考えているからです。こうした制度を地域住民と公共機関、さらに企業との協力で成し遂げられる活動をしていきたいです。

カナダに語学留学 苦手なプレゼンを繰り返して自信も

九州の私立大学3年生になった女子学生

昨年9月から12月までカナダのビクトリアに語学留学をしました。留学に行く前は、漠然とした思いとワクワクな気持ちで葛藤していました。語学留学をしたかった理由は、幼少期から英語に興味があり留学をして海外の人と英語

でコミュニケーションを取って、海外の文化などを体験したいと思ったからです。留学先では、苦手なプレゼンテーションのクラスがたくさんあり、初めは短いプレゼンテーションでも緊張して前に立つと頭が真っ白になっていましたが、何度もプレゼンテーションを続けるたびに、少しずつ自信が付き最後には自ら手を上げプレゼンや発表を頑張ることができるようになりました。また、カナダでの3か月はホームステイで過ごしました。ホームステイ先のホストファミリーはとても親切に接してくれ、私に分かりやすいように簡単な単語などを使ってくれたおかげで自信が付き、楽しく生活することができました。ホームステイ先のホストシスターとは今でもたまに連絡を取るほど仲良くなりました。今回の留学では今までの人生で経験したことないことをたくさん経験できました。それができたのも周りの人たちのおかげです。このような素晴らしい経験ができたことに感謝しています。そのことを糧に今後の生活に役立てていきたいと思っています。

帰国してからも留学先で学んだことを無駄にしないように毎日留学先で学んだ事の復習やTOEIC対策などを熱心に取り組んでいます。4月からは3年生になり、就活や学業そしてバイトと忙しくなると思いますが、2年後の将来卒業する時に悔いのないように今できることを精一杯して笑顔で卒業したいです。将来についても考えないといけない時期になってきますが、今は大学生活、アルバイト、自分の生活を有意義に過ごしたいと思っています。

【25期生】

子どもに関わりたい 教員免許取得目指し、講座受講

関東地方の私立大学法学部2年生になった男子学生

初めに、勉学について報告します。9月の報告で書いた中学校社会科の教員免許の授業を後期から受講しています。教員免許の授業は、私が所属する法学部の単位には含まれないため、ほかの学生よりかなり多くの授業を受講しています。しかしながら、私は将来のビジョンが以前より鮮明となり、子どもに関する職業に就きたいという目標が生まれたため、毎回の講義に出席をして、講義で学んだことを自分のものにしていきます。

次に、生活について報告します。横浜の自動車学校で普通自動車の免許を取得しました。地元の岩手県で生活しているときから自動車の運転をしたいと考えており、大学1年生の後期の授業が終了したのと同時に、自動車学校に入校し、自動車の資格の実技と筆記の両方の勉学に励みました。自動車学校での思い出があります。それは、高速教習で一緒にペアを組んだ人が、同じ学年で、

大学、学部であったため、新たな友達になることができ、ご飯に行くなど仲良く交流することができたことです。自動車学校の費用を出せることができたのは、日常的に節約を心がけて生活していたからです。スーパーでの学割での50円、100円の節約が今回の自動車の資格を取得することができました。次は、節約したお金から、以前から将来の選択肢として考えていた中学校・社会の教員免許などの資格のお金に充てたいと考えています。

2年生の履修でも法学部の勉強と並行して、中学校社会科の教員免許の授業も取得したいと考えています。教員免許を取得することは、簡単な事ではありません。他の学生よりも苦勞すると覚悟しています。しかしながら、私は、大学4年間で頑張ったことを、教員免許はじめとする学業活動にしたいと考えています。

患者さんの看護援助学ぶ 細かく計画する重要性痛感

看護師を目指して関西の私立大学に入り、2年生になった女子学生

大学に入学してから1年が経ちました。授業面について後期は、専門性の高い科目ばかりだったため、テストもかなり苦戦しました。他にも事前学習も大変でした。その理由としては、1つのことを学ぶのにそれ以上のことを事前学習で調べておく必要があったからです。課題とテスト期間がかぶり、なかなかテスト勉強に100%力を出すことができませんでしたが、何とか乗り切ることができました。今後はもっとテスト勉強を早い段階から取り組むようにしたいと考えています。また、春休みに入る前に初めての模試を受けました。結果はとても悪かったです。初めてで、勉強も十分にできない状況でしたが、反復した勉強がもっと必要だなと思いました。看護は広く深く覚えていけないといけないので、今のうちから様々な問題に触れることが大事なのかなと思います。そして、授業で患者さんの看護援助を学びました。自分で事前学習してきた援助計画ではまだまだ不十分であり、行動の一つ一つをもっと細かく計画を立てる必要がありました。2年生になると授業のほとんどが専門科目になり、学内演習も増えてくるので、ここで置いて行かれないようにしっかりと踏ん張って勉強していきたいです。

生活面では、特別養護老人ホームでのアルバイトの中で、お風呂以外の介護はできるようになりました。そのため、老年分野での看護はほかの人よりもできる自信があります。また、最近では利用者さんのバイタルを計るなどの重要なことも任せられるようになりました。しっかりと観察して容体を見とかないといけないので緊張しますが、任せてもらえるほど信用されていることをとても嬉しく感じています。看護を勉強するにあたってこのアルバイトを始めてよか

ったと改めて思いました。

大学のサークルでは4年生が卒業して、私たちの学年しかいなくなったので先輩からサークルの代表を任せられました。私を含めて2人代表がいますが、選ばれたからには次の一年生もしっかりと引っ張っていけるように頑張ります。

学生生活も2年目に入ります。2年生ではもう少し成績を上げることと課題を計画的に行うことを目標にして頑張りと、学校行事にも積極的に参加していきたいと思います。

運転免許取得やボランティア合宿、新しいアルバイト・・・

中国地方の公立大学2年生になった女子学生

私がこの1年間で学んだことは、自ら行動し挑戦することの大切さでした。大学に進学し最初に感じたことは、大学は高校のように自分が何もしなくても学校側がやるべきことを与えてくれるというわけではない、ということでした。自分から行動しなければ4年間はあっという間に過ぎ、何も成長できないまま大学生活が終わってしまいます。私はこのことに気づき、あと3年の大学生活で何を成し遂げたいのかを考えました。

まず、去年1年間で達成できたことは何かを振り返りました。去年は、施設を退所し知り合いも誰もいない入試でしか行ったことのない新しい場所での生活をなんとか乗り切った1年間でした。一度も地元に戻ることなく、大学とアルバイトと生活を自分なりに作り上げました。その中でも自動車学校に通い運転免許証を取得したり、大学のサークルで行われたボランティア合宿に参加したりしました。引っ越してきたばかりの時は馴染めるかがとても不安でしたが、気の合う大学の友人や信頼できる人などとの関係も構築でき、自分なりに人との距離感を決めて楽しく過ごすことができました。卒業後の進路についても考え、様々な説明会に参加しました。

また、ずっと憧れていた新しいアルバイトにも挑戦しました。1年の4月から働いていたパン屋を辞め、今はカフェで働いています。ずっと自分には無理だと思っていましたが、ダメ元で受けたところ、現状に満足せず挑戦し続ける姿勢だと捉えてもらえ、仲間に迎え入れて頂きました。頼れる仲間たちと一緒に働くことができるととても幸せなので、あと3年間続けたいと思っています。大学生活の中で、大学に通う意味を何度も考えることがありましたが、自分なりの答えを見つけ、2年次からはまた心を入れ替えて新しい気持ちで頑張りたいと思っています。

2年次からは、当たり前のことを当たり前にすることを目標にしました。大学に毎日通い、今あるものを最大限活かせるように勉強に励みます。また、今

年度は夏と春の長期休業で短期間の語学留学を予定しているので、英語の勉強も手を抜かずに取り組むつもりです。去年、卒業後の進路について考える中で国家公務員を目指すことにしたので、試験勉強も今年度から始めます。去年に引き続き説明会にも参加し、より自分の将来への解像度を上げていきたいと思っています。

2年次からの展望が多くなりましたが、去年は短い大学生活の中で自分は何をするべきなのかをたくさん考えました。後悔しないように過ごしていきたいです。

スポーツジムでアルバイト 学んだことを実践

パーソナルトレーナーを目指して九州の専門学校に入り、2年生になった男子学生

入学後は休まず登校しています。学校では先輩にかわいがってもらい楽しい学校生活を送っています。4月下旬より専門学校と教育提携を結んでいるスポーツジムでアルバイト始めました。平日4時間、土曜・日曜は7・5時間スポーツジムでアルバイトをしています。私にはパーソナルトレーナーになる夢があり、その夢を叶えるためにスポーツ専門学校に入学しました。学校の授業ではトレーナーになるための基礎知識や栄養学、体づくりを学び、学校が終わると授業で教わったことの実践としてスポーツジムでいろんなマシーントレーニングやフリーウエイトなどの筋肉トレーニングをしています。ジムではほかにも館内の掃除や接客、電話対応、入会されたお客様のカウンセリングをしています。8月からは自分の教室を任せてもらえるようになりました。10月にはスタジオトレーニングも任せてもらえることがほぼ決まりました。

祖父母宅を間借りして宮崎市内の専門学校に通学しています。祖父母に甘えず、自分でできることは自分でするように心がけています。例えば祖母が毎日、お弁当を作ってくれますが、弁当箱は必ず自分で洗うようにしています。洗濯もできる範囲で自分でしています。そうすることでしか祖父母に感謝の気持ちを伝えることができないと思っています。

来年の夏、「フィジーク」の大会に出場する目標が出来ました。「ボディビル」は筋肉の総量を競う種目ですが、「フィジーク」は上半身の筋肉の美しさを競う種目です。成績が目的ではありません。パーソナルトレーナーの関係者に自分を知ってもらいたいのです。なぜなら私の最終目標は自分のスポーツジムを持つことだからです。いまのうちに多くの人脈を築いておきたいのです。また、大会に出場することで自分がパーソナルトレーナーになったときにクライアントに自分の経験を活かしたコーチングができるとも思っています。

初めての一人暮らし やらねばならないこと増えて感謝の心

教諭を目指して都内の私立大学に入り、2年生になった女子学生

大学1年生を終えて、一言でいうと、多忙な1年であったなと思います。新しいアルバイトも始め、一人暮らしも始めて、大学も毎日あるという日常でした。バイトは塾の講師と居酒屋の店員をしています。塾講師は、受験が近づくにつれて私自身も家で予習してきたり、文章を読んできたたりする時間が増えました。忘れていた知識を思い出すことや、勉強する時間が増えてとても有意義なバイトだと思います。子どもたちとのおしゃべりなど関りも楽しいです。バイトを真剣に取り組めた1年でした。

大学生になってから一人暮らしを始めました。これまでやってもらっていたことが全部自分でやらなくてはいけないこと、あつて当たり前であった日用品もなくなったら、私を買わなくてはならないことなど、やらなくてはいけないことが一気に増えました。それに伴って今まで気づかなかったことに気づくことができ、ごはんが出てくること、その日着た服が次の日には乾いていることなどまだまだたくさんありますが、感謝の心を持つことができました。1人暮らしで日々成長出来ています。最近は自炊に興味を持ち始め、献立を考えて買い物をしたり、作り置きを作ったりということが楽しいです。お弁当作りにも挑戦したいとも思っています。

私は学校の先生になりたいという夢があるため、史学の勉強に加えて教職課程も取っています。そのため、午後7時半まで学校で授業があることもあります。さらにテスト・レポートの量も多く毎日忙しいです。しかし、私は史学が好きなので教授の話を聞くのが楽しくて忙しいことが苦とは思いません。2年生になったら、1年の時よりも自分の好きな分野の研究もできるので楽しく学校に通おうと思います。この1年は本当に多忙な毎日でした。もっと時間を有意義に使っていきたいです。

成績を上げるとともに全国の有名建築物を見学したい

建築士を目指して北海道の私立大学に入り、2年生になった男子学生

大学1年生を終えて、この春から2年生になることができました。大学1年生で1番大変だったことは新しい環境に慣れるということでした。住む場所、交友関係など全てが変わった中で勉強とバイトを両立させて生活するのはとても大変でした。私が通っている建築学科では毎日びっしり授業が詰まっております、授業の内容も難しいです。そんな中頑張れたのは昔から応援してくださる読売光と愛の事業団の皆様や養護施設の職員の方のおかげです。その甲斐があ

って無事に大学生活1年を終えることができました。そして昨年いただいた奨学金は教科書代やテスト期間でバイトに行けなかった時期の生活費として使わせていただきました。

今年の目標は去年より成績を上げること、充実した日々を過ごすことです。去年の成績は全教科の単位を取得することができましたが、GPAと言って各教科の成績を合計した数値を示す値では真ん中より少し下という結果でした。そこで、今年は単位を全て取得するのは前提として、一つ一つの教科をより高い評価で単位を取得したいと考えています。また勉強やバイトばかりではなく、最後の学生生活を楽しみたいと考えており、具体的には色んな場所に旅行に行き、全国の有名な建築物を見ることで自分の世界観を広げたいです。そこで得た経験はこれからの勉強を頑張る糧になり、建築の設計をする上でのアイデアに繋がると考えています。

去年はわからないことだらけで不安な日々を過ごしていましたが、今年は色々なことを学べることや、新しいことに挑戦できる日々にわくわくしています。いつか立派な社会人になった時に今度は自分が若い人たちを支援してあげられるようになり、今まで応援してくださった皆様に恩返しができるように大学2年生も一生懸命頑張っていきます。

困難な資格試験を親しい友人と共有しながら乗り越えた

関東のIT系専門学校2年生になった男子学生

同じ目標を持った友人とのふれあいがとても楽しく感じる1年間でした。毎日一緒にプログラミングの課題やプロジェクトに取り組んでいたため、互いに切磋琢磨しながら成長していることを実感できました。各資格試験はとても大変で、プログラミングやアルゴリズムの知識を深めるには多くの時間と努力が必要でした。特にアルゴリズムへの理解を私は苦手としています。試験範囲も広く、応用問題やデータ構造の理解を問われる問題も多い上に制限時間内に回答する必要もあり、対応が難しいと試験の度に感じていました。しかし、これらの困難を親しい友人と共有しながら乗り越え、自身の知識や技術が向上していくことを楽しいと感じながら毎日を過ごすことができました。

学校での生活も残すところ、あと1年となりました。いよいよ就職に向けた活動も少しずつ始まっています。私は先日、東京にあるIT系の会社でのインターンシップに参加しました。この初めての経験を通じて会社の雰囲気や実際の仕事の流れを体験することができました。実際の現場でのプロのエンジニアたちの姿を見たことで、将来に向けた具体的な目標を設定でき、良い刺激を受ける機会となりました。インターンシップで得た様々な情報を活かし、これか

ら迎える就職活動の準備をしっかりと行っていきたいと考えています。

初めて患者さんを受け持ち、病院で介護実習

看護師になるために東北の公立大学に入り、2年生になった女子学生

無事必要なすべての単位を取得し、2年生に進級することができました。大学生活1年目は本当にあっという間に過ぎてしまい、気がついたら2年生になっていたという感じでした。入学前の大学生活のイメージとしては、勉強は忙しいけど、程よくアルバイトもして休みの日は友達と遊んで、長期休みには旅行に行ってというものを想像していました。しかし、この1年を振り返ってみると、夏休みも春休みも（縄跳びの）サークルの大会に向けた練習でほぼ毎日のように大学に通い、練習をしてという日々でした。なんだかんだ友達とはほとんど毎日会えるし、楽しみながら練習ができたのでよかったのですが、流石に大学好き過ぎていたかなとも思います。

後期の授業では座学だけではなく、看護技術演習なども始まりました。バイタルサイン測定や車椅子移乗などのケアについての技術演習を行いました。冬休みには4日間の病院での実習があり、初めて患者さんを受け持ち、コミュニケーションをとったり、日常行動の介助に入ったりというケアを行いました。初めての实習でわからないことだらけで緊張していましたが、患者さんとのコミュニケーションを楽しみながら乗り越えることができました。実際の看護師さんの働く姿を見て自分もこんなふうになるのかなあと想像しながら実習を終えることができました。2年生の夏休みにも1週間程度の実習があり、それに向けた事前学習や技術演習の授業もあるので、頑張りたいと思います。思っていた以上に旅行や遊ぶ時間はなかったのですが、3月に唯一の旅行としてサークルの友達と東京に遊びに行きました。久しぶりに東京ディズニーシーへ遊びに行き、とても楽しい時間を過ごしました。大学生活2年目もなかなか遊べそうにはありませんが、程よく息抜きもしながら勉強に励んで行ければいいなと思います。